

平成25年度 学校評価

1 目指す学校像

児童が生き生きと活動し、教職員がやりがいを感じ、地域から信頼され、誇りに思える学校

2 学校自己評価

(1) わかる授業と学力の向上【学力の向上】

①年度当初における現状と課題

- 「わかる授業」「楽しい授業」に努め、児童の学習意欲を向上させる。そのために、校内研修や授業研究に積極的に取り組んで教員の指導力を向上させるとともに、授業の改善に取り組む必要がある。
- 業前、休み時間、長期休業中の補充学習を充実させるとともに、家庭と連携し、家庭学習の習慣を定着させるとともに、さらに充実させていく必要がある。

②具体的方策

- 算数を中心とした学習指導の研究に取り組む。
- 全ての教師が一年間で一人一回以上の研究授業を行い、授業の改善と指導力の向上を図る。
- 「家庭学習の手引き」や「家庭学習カード」を活用し、家庭での自主学習を習慣化させる。
- 業前のドリル学習や確認テストを行い、補充学習を充実をさせる。
- 学習ボランティアの人数を増やし、サマースクールでの補充学習を充実させる。

③達成状況

- 毎学期、授業研究を行い、特に算数の指導方法の研究を深め、着実に実践することができた。
- 「家庭学習の手引き」や「家庭学習カード」等の取組とともに、PTAによる「家庭教育の指針」を各家庭に配布し、家庭学習の充実をさせることができた。
- 昼休みにパワーアップ教室を行い、補充学習の充実を図ることができた。
- 長期休業中の補充学習では一人一人に応じた指導を充実させた。特に、保護者、地域の皆様の他、西中学校や純真短期大学とも連携を図ることができた。

評価指標	24年度	方策の目標	25年度
①教育に関する3つの達成目標「読む・書く・計算」全項目達成率	達成率 95.5% 95%以下7項目	全項目 95%以上	達成率 99% 95%以下2項目
②川俣っ子アンケート「授業がよくわかる」	A 50% B 45.1%	A 70% B 30%	A 60% B 36.3%
③川俣っ子アンケート「宿題以外に家庭学習を行う」	A B 82.4%	A B 90.0%	A B 91.8%

※表中の「A」は「よくあてはまる」、「B」は「ややあてはまる」の回答者。以下同じ。

⑤次年度への課題と改善策

- 基礎・基本が定着されてきたので、今後、活用する力を一層伸ばしていく。
- 教員による授業の改善と指導力の向上を更に図っていく。
- 家庭と連携した学習習慣の充実を更に図っていく。

(2) 生徒指導の充実と体力の向上【豊かな心と健康体力】

①年度当初における現状と課題

- 「丁寧な言葉づかい」など規律ある態度を定着させるとともに、望ましい人間関係を築く力を付ける指導を、更に進める必要がある。

- 児童が今以上に学習や運動に積極的に取り組み、充実した学級・学校生活を送れるようにする。
- 基礎的な体力をしっかりと身に付ける指導を進めるとともに、体力の向上に向けた児童の意識を高めていく必要がある。

②具体的方策

- 学校行事や学級経営などを充実させ、楽しく豊かな学校生活ができるようにする。
- 生徒指導主任を中心にした全教職員による組織的、積極的な生徒指導を行う。
- 家庭・地域と連携した生活指導の充実を図る。
- 業前活動、自主マラソンなど体育活動の充実を図る。

③達成状況

- 多様な体験活動を実施し、豊かな心の育成を図ることができた。
- 生徒指導主任を中心に全教職員で全児童を指導することができた。細かな点を見逃さず、迅速・適切に対応することができた。
- 「時間を守る」など、規律ある態度について全児童に徹底が図れた。全学級が集中して授業に臨んでいる。
- 朝の自主マラソンに積極的に参加する児童が増えてきている。持久走大会では多くの新記録が出た。一般的に体力は向上している。

評価指標	24年度	方策の目標	25年度
①教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」全項目達成率	80%以上 72項目 中 65項目	全項目 80%以上	80%以上 72項目 中 69項目
②川俣っ子アンケート「学校が楽しい」	A 69.7%	A 80%	A 78.5%
③川俣っ子アンケート「先生の話をよく聞いている」	A B 88.8%	A B 90.0%	A B 94.1%
④自主マラソン参加率		100%	100%

④次年度への課題と改善策

- 更に多くの児童が集中して学習に取り組めるようにする必要がある。
- 道徳教育の質を高めるとともに、学校行事や学級経営の充実を図る必要がある。
- 体育授業の充実と業前運動や自主マラソンの取組を継続して体力の向上に努める必要がある。

(3) 児童の活動意欲を高める環境づくりと健康教育【学習の土台と環境】

①年度当初における現状と課題

- 安全な施設の管理は十分になされている。更に児童の活動意欲を高める施設の経営管理の充実を図ることが課題である。
- 児童は大変よく清掃活動に取り組んでいるが、人数が少ないためなかなか行き届いた清掃が難しい。分担やローテーションなどを工夫して取り組んでいく必要がある。
- 歯科指導を中心に、健康教育を推進しており、児童の意識は高まっている。更に児童が自らの問題として取り組む態度を養う必要がある。

②具体的方策

- 定期的な施設・設備の点検を着実に実施し、安全で学習意欲の高まる環境づくりを実施する。
- 清掃活動の充実を図る。
- 掲示教育の充実を図る。
- 外部指導者等を活用し多様な健康指導の充実を図る。

○児童会とも連携し、児童の自主的な歯科指導を進める。

③達成状況

○季節感のある掲示物、児童の作品、授業の教材など工夫して掲示し、掲示教育の充実を図ることができた。

○無言清掃を意識して取り組むことができています。

○特に保健給食委員会による自主的なむし歯予防の呼びかけ活動を推進することができた。

評価指標	24年度	方策の目標	25年度
①職員アンケート「教室等の経営管理を工夫している」	A 0% B 60%	A 40% B 40%	A 40% B 50%
②職員アンケート「確実な安全点検」	A 70%	A 80%以上	A 80%
③職員アンケート「行き届いた清掃活動」	A 33.3%	A 50%	A 45.5%
④ヘル歯一チェック評価A達成率	12.3%	50%	59.4%

※表中「ヘル歯一チェック評価A」は、歯みがき後、みがき残しがなくよくみがけている児童

④次年度への課題と改善策

○児童の活動意欲を高める環境づくりについては更に工夫改善する必要がある。

○学校図書館の計画的な活用を推進していく必要がある。

○歯科指導だけでなく、他の健康教育についても児童の自主的な活動を多く取り入れていく必要がある。

(4) 家庭・地域との積極的な連携による地域に根ざした学校運営の推進【家庭地域との連携】

①年度当初における現状と課題

○家庭・地域との連携の充実が図れている。特に学校応援団を中心に学校の教育活動の支援が充実してきている。今後更に連携を深め、充実した活動を目指していく必要がある。

②具体的方策

○学校だより、ホームページ、各種懇談会等を通して積極的に情報を発信する。

○学校応援団との連携による安全、学習、環境整備、遊びなどの教育活動を充実させる。

○メール配信システムを活用するなど学校応援団との連絡体制を確立する。

○PTA との会議を定例化し、共通理解を十分に図れるようにする。

○中学生との交流や中学校の教職員との連携を図り、小中の円滑な接続を図る。

③達成状況

○ホームページを月1回更新し、最新の情報発信ができた。

○公民館や区長会との連携を密にし、地域と連携した教育活動の充実を図った。

○応援団へのメール配信による連絡体制づくりを進めることができた。

○サマースクールや出前授業など、大学や中学校との連携を進めることができた。

評価指標	24年度	方策の目標	25年度
「学校は家庭地域と連携している」地域	A70% B30%	A70% B30%	A67.7% B32.3%
「学校は家庭地域と連携している」保護者	A50% B50%	A50% B50%	A32.6% B65.9%
「学校は家庭地域と連携している」職員	A50% B50%	A50% B50%	A63.6% B36.4%

④次年度への課題と改善策

○積極的な情報発信や連携を図り、地域と一体となった学校教育の更なる充実を図る必要がある。

○応援団員のメール配信システムへの加入者を更に増やしていく必要がある。

○小中一貫教育について更に研究を深めていく必要がある。

3 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員会に意見等を求めた事項

- ①わかる授業と学力の向上
- ②生徒指導の充実と体力の向上
- ③児童の活動意欲を高める環境づくりと健康教育
- ④家庭・地域との積極的な連携による地域に根ざした学校運営の推進

(2) 学校関係者評価委員からの意見等

- ・学力向上の結果が数値として表れていてすばらしい。
- ・自己評価にあるとおり授業にしっかり取り組んでいる。
- ・体力については「投力」「柔軟」と課題が明確になっているので、今後それに向けて取り組んでほしい。
- ・ほとんどの子どもが「学校が楽しい」と答えているのはすばらしい。
- ・学校がよくなってきていることがよくわかる。
- ・校内の掲示がよい環境を作り出している。
- ・校長先生の考えが学校全体に行き届いているのがわかる。
- ・学校だよりを地域の全家庭に配布することはできないか。